

暮らすように楽しむ

東栄町のじかん

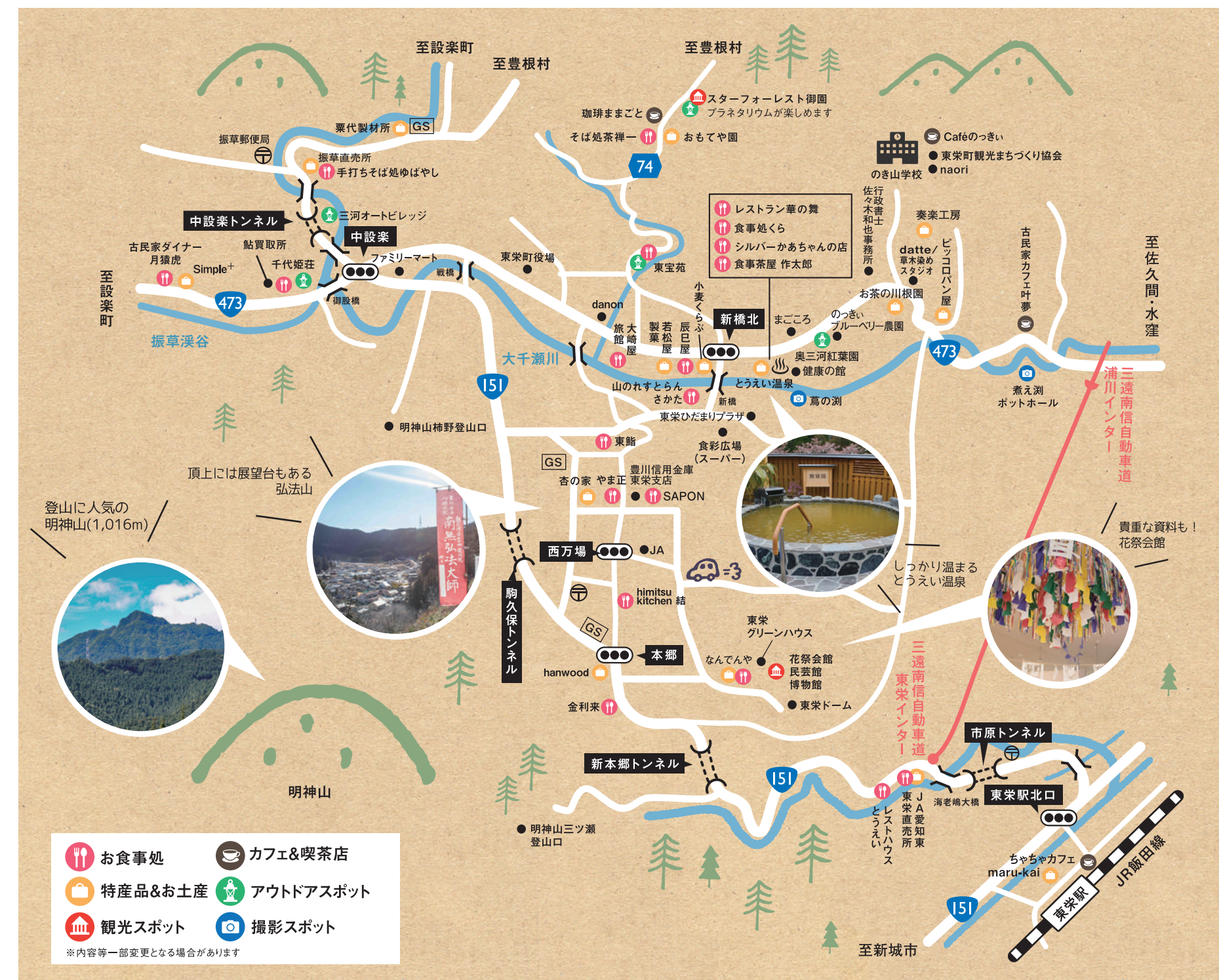
Vol.10
2023

路線バスで 東栄町を 周ろう!



『東栄まちなか線』でまち巡り

2022年11月、病院施設の移転に伴い、町内のバス路線が改定されました。それを受けて今年1月、バスを使ってまち巡りを楽しむイベント「暮らし旅、東栄」を東栄町観光まちづくり協会の主催により敢行。ローカルな移動手段を使って暮らし目線でまちに触れ、東栄町を身近に感じてもらう体験をしていただき、好評でした。便利になった町営バスを使って、山のまち東栄町でグルメや気ままなまちぶら時間を楽しむのはいかがでしょうか。



東栄町のじかん

Vol.9
2022

編集・発行/東栄町観光まちづくり協会
企画・取材・原稿・撮影/マルカイ デザイン制作・監修/星原真央美
住所/〒449-0206 東栄町下田軒山13-7
お問い合わせ/0536-76-1780(水曜定休日)
発行日/2023年2月28日
※本誌に掲載されている情報は2023年2月28日現在のものです。
観光情報はホームページをご覧ください。 [東栄町のじかん](#) 検索

「東栄を応援したい」サポーター募集中!
東栄町観光まちづくり協会は、観光まちづくり事業を通じて、魅力あるまちを未来へつないでいくために活動しています。そんな活動に賛同し、応援いただける会員様を募集しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
会費 1口年額1,000円以上
賛助会員 1口以上 正会員 2口以上

Pick up スポット!
龍洞院の裏手にある弘法山。道沿いにはいくつもの石仏が祠に祀られている。標高330mの高山にある展望台からはまちが見渡せる。弘法山＝龍洞院 #88所弘法巡礼
フォローしてね!
Instagram

施設やお店の情報
ホームページ「東栄町のじかん」でチェック!
正確な場所や詳細な情報については、各施設・店舗がホームページやSNSで提供する情報をご確認ください。

おむすびカフェ himitsu kitchen 結
JA直売所前
JA直売所前
JA直売所前
JA直売所前

バスの乗り方

【東栄まちなか線】
運賃はバスを降りる際に運転手席横の箱に入れてください。できるだけお釣りのないよう、あらかじめ小銭を用意されることをおすすめします。降りる場所は、各バス停の他、バスのルート沿であればバス停ではない場所で降りることも可能です。バスに乗車する際に目的地を運転手に伝えてください。

・運賃 200円
・1日乗車券 500円
※バス車内で購入できます。(東栄町役場で事前購入可)
小児(小学生以下)は半額
未就学児は、大人一人につき2人まで無料とし、3人目から小児運賃がかかります。
障害者の方は運賃が半額
バス運賃、1日乗車券ともに料金が半額になります。「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」を提示してください。
東栄町在住の小・中学生は無料
町営バス利用証を提示してください。

おでかけ北設

「おでかけ北設」は北設楽郡の設楽町、東栄町、豊根村が、町村をまたぐ基幹バスの運行も含め、3町村で共同で運行する地域公共交通システムです。

東栄設楽線	豊根東栄線	予約バス
■本郷～神田……200円 ■神田～田口……200円 ■本郷～田口……400円	■豊根村役場前～折古戸……200円 ■折古戸～東栄駅前……200円 ■豊根村役場前～東栄駅前……400円	■近くの停留所までお迎え……200円 ※乗車するためには会員登録と電話予約が必要です。

飯田線の「東栄駅」
飯田線の本数は少ないので電車の時間は事前にしっかり確認しておこう!
バス停は駅を出て左手方向に約30メートルの場所。
東栄駅の情報は中間特集記事を!

花まりの湯
天然温泉
花まつりの湯
TEL:0536-77-0268
営業時間 平日10:00～20:00(19:00最終受付) 土日祝 10:00～21:00(20:00最終受付) 定休日 水曜日(祝日の場合は営業)

とうえい健康の館
北設楽郡東栄町下田花田22-1
TEL:0536-77-2525
とうえい健康の館

Café のつきい
NPO法人てほへのきやま学校
ドリンク各種 420円
ケーキセット 720円
食事メニュー 学校給食セット 1030円
TEL:0536-76-1722

全サイト電源付きのオートキャンプ場 三河オートビレッジ
TEL:0536-76-1568

東宝苑
平日日替わりランチ 660円(税込)
しいたけ堪能セット 1,650円(税込)
TEL:0536-76-1151

大崎屋旅館
TEL:0536-76-0046

※コロナウィルス感染防止対策の関係により、営業条件等が変動する場合があります。情報は、ホームページ「東栄町のじかん」で最新情報をご確認ください。

THIS IS TOEI-CHO

知ってほしい、東栄町のこと



暮らし続けるために
まちが取り組む数々の課題

令和5年1月末日現在、愛知県東栄町の人口は28,500人。対して、東栄町の人口は2,850人。老年人口65歳以上の割合は、愛知県は25%であるのに対し、県下でも高い市町村は豊根村の約52%で、次いで設楽町、東栄町の約52%、北設楽郡の3町村が占める。令和3年（住民基本台帳）の東栄町では年別で多い順に、70代約19%、60代約17%、80代約16%、90歳以上が30代の人口割合にほぼ等しいなど、大きな偏りのある年齢構成だ。

「東栄町第6次総合計画」（令和3年度～7年度）に掲げられたまちづくりの目標は「暮らし続けられるまちを未来につなぐこと」「小さな高齢過疎のまちでも行政区として人々が暮らし、いくにはインフラを始め、一通りの生活機能や暮らしの質の保持が必要だ。豊かな自然環境や花祭を代表とする古から伝承される歴史や伝統文化、住民

暮らし続けるために、まちが取り組む数々の課題。令和5年1月末日現在、愛知県東栄町の人口は28,500人。対して、東栄町の人口は2,850人。老年人口65歳以上の割合は、愛知県は25%であるのに対し、県下でも高い市町村は豊根村の約52%で、次いで設楽町、東栄町の約52%、北設楽郡の3町村が占める。令和3年（住民基本台帳）の東栄町では年別で多い順に、70代約19%、60代約17%、80代約16%、90歳以上が30代の人口割合にほぼ等しいなど、大きな偏りのある年齢構成だ。

「東栄町第6次総合計画」（令和3年度～7年度）に掲げられたまちづくりの目標は「暮らし続けられるまちを未来につなぐこと」「小さな高齢過疎のまちでも行政区として人々が暮らし、いくにはインフラを始め、一通りの生活機能や暮らしの質の保持が必要だ。豊かな自然環境や花祭を代表とする古から伝承される歴史や伝統文化、住民

暮らし続けるために、まちが取り組む数々の課題。令和5年1月末日現在、愛知県東栄町の人口は28,500人。対して、東栄町の人口は2,850人。老年人口65歳以上の割合は、愛知県は25%であるのに対し、県下でも高い市町村は豊根村の約52%で、次いで設楽町、東栄町の約52%、北設楽郡の3町村が占める。令和3年（住民基本台帳）の東栄町では年別で多い順に、70代約19%、60代約17%、80代約16%、90歳以上が30代の人口割合にほぼ等しいなど、大きな偏りのある年齢構成だ。

「東栄町第6次総合計画」（令和3年度～7年度）に掲げられたまちづくりの目標は「暮らし続けられるまちを未来につなぐこと」「小さな高齢過疎のまちでも行政区として人々が暮らし、いくにはインフラを始め、一通りの生活機能や暮らしの質の保持が必要だ。豊かな自然環境や花祭を代表とする古から伝承される歴史や伝統文化、住民

東栄町 その6まちのこれから

東栄町ってどんなところ？という疑問と興味にお応えして、東栄町を深掘りしてお伝えするシリーズ。町内の人も町外の人でもぜひ、東栄町のいろんな“なるほど!”を見つけてくださいな。

の温かき素朴な人柄をまちの良い特徴としながら、交通・道路網、防災・消防、上下水道、医療、介護、福祉、教育、若者定住促進、産業、農林漁業の担い手、高齢者世帯を含めた自動力や互助力の保持、公共施設の老朽化対策「取り組む分野は多岐に渡る。まずは「東栄町過疎地域持続的発展計画」（令和3年度～7年度）にて問題点の明確化と解決の方向性を明示し、段階的に取り組んでいる。高齢過疎が進んできた背景には、まちを疎かにしてきた業の衰退と相まって若者の都市部への流出という時代特有の課題がある。まちの人口減少は昭和35年から50年ごろに著しく、特に生産人口を中心に流出した。以降も人口は減り続け、現在は最多期の4分の1ほどとなっている。

の温かき素朴な人柄をまちの良い特徴としながら、交通・道路網、防災・消防、上下水道、医療、介護、福祉、教育、若者定住促進、産業、農林漁業の担い手、高齢者世帯を含めた自動力や互助力の保持、公共施設の老朽化対策「取り組む分野は多岐に渡る。まずは「東栄町過疎地域持続的発展計画」（令和3年度～7年度）にて問題点の明確化と解決の方向性を明示し、段階的に取り組んでいる。高齢過疎が進んできた背景には、まちを疎かにしてきた業の衰退と相まって若者の都市部への流出という時代特有の課題がある。まちの人口減少は昭和35年から50年ごろに著しく、特に生産人口を中心に流出した。以降も人口は減り続け、現在は最多期の4分の1ほどとなっている。

REPORT 東栄町観光まちづくり協会の活動報告

フリーペーパー「東栄町のじかん」第10号記念!

日頃、弊会発行の「フリーペーパー東栄町のじかん」をご愛読いただきましてありがとうございます。創刊の2020年夏号から今回号に至るまで、様々な地域の事業者や住民の皆さまへご協力いただき、無事に第10号まで発行することができました。今回、そんな皆さまへの感謝を込めて、読者プレゼントキャンペーンを実施します。下記QRコードより読者アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で3名の方へスペシャル特典を提供します。ご応募お待ちしております!



読者プレゼント企画

読者プレゼント企画

朗報なのは近年、小中学生の児童生徒数は横ばい傾向にあり、年少人口の構成比率は微増傾向にすぎない。自然豊かな環境でのびのびと暮らし、子どもたちは明るい。まちを想う気持ちは自分たちでまちを作っていく行動力があり、子どもたちが元気、東栄町、これが、わくわくしかない!と思いませんか。

バス1日乗車券+温泉入浴券セット 2組 (ペア)

東栄町のまちなかを巡って楽しめる町営バスに1日何回でも乗ることが出来る乗車券と「とうえい温泉」の入浴招待券のセット。フリーペーパーを片手にバスを使って、実際にまち巡りをお楽しみください。(バス乗車券は1日限り有効)

読者アンケート
こちらのQRコードを読み取り、アンケートにご回答ください。アンケート受付期間:2023年5月8日(月)まで
当選連絡:5月2日(金)
※当選者のみご連絡差し上げます。



まちの NEW SPOT

自然が好き。舟が好き。東栄から丸木舟を流行らせたい。

長野県伊那市生まれの山下さん。高校を出た後、大工として仕事に就いたが、子どもたちと触れ合う仕事をしたくて通信教育で教員の資格を取り、子どもの教育に携わる仕事をしてきた。東栄町に空き家見学に来た際に子どもたちが家を気に入ったことから、移住を決意。後に、個人事業主となった。

自分が活動する山に入れば欲しい木が好きなので、手に入るから、まずは椅子作りを始めた。さらに子どもたちから舟が好きだったことから、丸木舟を手彫りし、丸木舟を作り始めた。現在はまだ販売していないが、できるだけ多くの人に自然との一体感が味わえる丸木舟の楽しさを体験してもらい、丸木舟を流行らせるのが夢だ。工房前道路沿いに品物が並び店舗は基本的に無人販売だが、工房にいるときには気軽にオーダーやリクエストにも対応している。



山の資源をできるだけ有効利用。鹿など野生動物の皮もまとめて使用する。

町内外の川遊びスポットで、丸木舟の体験をやっている。(写真は大千瀬でらす)

山に資源をできるだけ有効利用。鹿など野生動物の皮もまとめて使用する。

Hanwood ハンウッド

住所/東栄町本郷上岡本58-1
TEL/090-9666-7547
営業/無人販売が基本

作ってほしいものなどお気軽に相談を。

Botanical Studio

オトナも子どもも遊べるアソビ場「datte」の中にある植物のスタジオとギャラリー

草木染め、機織り、染料畑、綿栽培、野草茶作り、etc.

東栄町下田平井42-1 営業はSNSでご確認ください。

豊川信用金庫

LINE かわしんLINE

当金庫や地域の情報をお伝えします。

山の手うどん

地元の良材と旬の味噌

北設楽郡東栄町本郷二丁目25-2
営業時間/11:30~14:00, 17:00~20:00(L.O.19:30)
定休/日・火・水曜日 TEL/0536-76-1453

*コロナウィルス感染防止対策の関係により、営業時間等は変動する場合があります。施設・店舗が提供する最新情報をご確認ください。

秘境駅「小和田」

飯田線を知り尽くした有志のおすすめ情報!

フェイスブックにて有志により飯田線関連の情報を発信しているコミュニティページ「飯田線の魅力発信」。運営者自身が出掛け撮影してきた秘境駅をはじめとする興味をかきたてられる写真の数々だけでなく、沿線のイベント情報や崖崩れによる線路事故などお役立ち情報もあり、飯田線を身近に感じて飯田線がもっと好きになるページだ。

facebook

旅人も地域の人も。... 駅舎カフェは交流の場

気さくなママさんが応対してくれる駅舎内のカフェ。日頃から地域の人々が集い、電車を待つ人など居合わせた人たちにも会話の輪が広がる。薪ストーブもある心地よい店内には絶えず明るい笑い声が響く。人気はモーニングや手作りのケーキ

セットなど、地域の人たちによる手作り雑貨も販売されている。

ちやちやカフェ
営/8:00~17:00
休/水・火・木曜日
tel 0536-76-1220

宮田良子さん

湯谷温泉からも電車で

風来城の美しい深谷沿いに湯谷街を構える新城市の湯谷温泉。飯田線湯谷温泉駅から東栄駅へは約20分。湯谷温泉の宿に泊まり、東栄に遊びにくるのもオススメ。

車窓からの眺めも魅力

写真は湯谷温泉駅と三河橋原駅間に見える景色。川底に一枚岩が広がる様子は奥三河ならではの。自然や田舎まちを眺める車窓とともに電車旅を楽しんで。

飯田線の旅データ

▶豊橋～東栄
【所要時間】1時間20～50分ほど(ダイヤによって異なる)
【料金】片道990円

・切符は行きは豊橋駅で買うが、東栄駅から乗車するときは、乗車後車内で車掌さんから購入。
・ICカードは使えないので要注意。

電車で行く東栄町♪ 飯田線に乗って東栄へGO!

旅のお供を豊橋駅でゲット!

秘境号弁当 1,160円 豊橋弁当部 tel:0532-31-1131

飯田線沿線をイメージした品数も充実の松花堂弁当。改札内、飯田線乗り場上階のコココースで買える。秘境紙をイラストで紹介した包装紙に旅のワクワク感が高まる。

ブラックサンダーピレネ 255円 mikawa bonTora店 (4/11~29/10) tel: 0532-52-6566

豊橋スイーツで人気の「ボンとらや」、同じく豊橋名物として有名な「ブラックサンダー」とコラボした、チョコのザクザクとした食感が楽しめる「ピレネ」が駅構内で買える。

秘境駅号

毎年春と秋に運行されるJRの人気企画列車「秘境駅号」。東栄駅では10分間停車し、地元の人たちが土産物、餅、お菓子、手ぬぐいといったグルメやお土産を販売する。

単線ローカル列車の旅を楽しみながら東栄町へ

豊橋駅から長野県上伊那郡辰野町の「辰野駅」まで全長10.7km、94の駅があり、端から端まで直通でも約6時間かかる飯田線。険しい山岳地帯を貫いて走り、「小和田駅」や「中井待駅」など全国の秘境駅ランキングに名前を連ねる駅をいくつも有する。豊橋駅を出て山間地域へと移動するにつれ、車窓の風景も徐々に緑と渓谷、鄙びた田舎へ、自然を眺めながら乗客もまばらな各駅停車のんびりとした列車の旅に身を委ねれば、ちょっとした瞑想気分だとして浸れそう。1時間半ほどの移動が過ぎて東栄駅に着くころには街の喧騒の記憶も忘れ、降り立つ駅の新鮮な山の空気がこれから過ごす山のまちでの体験に向けて気持ち切り替えてくれる。

旅のお供を豊橋駅でゲット!

秘境号弁当 1,160円 豊橋弁当部 tel:0532-31-1131

飯田線沿線をイメージした品数も充実の松花堂弁当。改札内、飯田線乗り場上階のコココースで買える。秘境紙をイラストで紹介した包装紙に旅のワクワク感が高まる。

ブラックサンダーピレネ 255円 mikawa bonTora店 (4/11~29/10) tel: 0532-52-6566

豊橋スイーツで人気の「ボンとらや」、同じく豊橋名物として有名な「ブラックサンダー」とコラボした、チョコのザクザクとした食感が楽しめる「ピレネ」が駅構内で買える。

自転車を持って電車に乗ろう!

自転車人気の昨今。東栄町でも「サイクリスト歓迎のまち」として、サイクリングでまちを楽しみやすい環境を整備。電車に自転車を持ち込むことを「輸行」と言い、細かなルールは鉄道各社で異なるが、自転車を分解し、専用の輸行袋に収納して手荷物として持ち込むのが基本。電車で東栄に来る際も、愛車で山のまわりのライドが楽しめる!

自転車は輸行袋へ完全収納 → (撮影用に袋が開けてあります)

*掲載価格は全て税込です。

Toei Life Style
こんな人こんな場所

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高齢過疎地域の暮らしを支えつつ、可能性あるまちを観光で盛り上げたい

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動がバスにより大幅に便利になった。一方で、離れた集落に住む車のない高齢者にはタクシーが大車な足。他に、旅行客を駅からとうえい温泉や遠くは茶臼山方面まで乗せてはくが、また東栄町ならではの「花祭の日」の終日稼働。夜通し行われる祭りに会場を往復する。また、密着して会の夜に立ち、また楽しい旅を円滑にサポートする、お客様の顔が見える仕事だ。原田さんは「仕事に就く前に一度まちを出て都会で板前として働いたことがあり、から人を呼び込みたいと画策している。しかしそんな折にコロナに見舞われ旅行運業は大打撃を受けた。今もまだ完全に回復しはと言えない状況ではあるが、最近また少しずつ観光分野の事業調整に動き始めたそう。現在、抱えている運転手は10名ほど。高齢化による運転手不足もあり、運転手を常に募集している。課題や困難は尽きないが、「地域と連携し、まさに貢献したい」という気持ちで原動力に会社は前進している。

高橋も多かった当時、人ははしつかり心を持って人や世の中に向き合うことが大事だ」という答に行き着いたその考えを持ちつつ、自身もここに生まれ育った町民として暮らしながら、まちに関わる仕事をするうち、「地元と共にあるバス/タクシー会社でありたい」と自然に思うようになったと言った。

貸切バスの主な利用者は町内や奥三河地域のみなさんで、空港や他地域の移動に使われることが多い。会社はそこに加えて、良い観光の素材がたくさんあるこのまちに外

東栄タクシーは1954年創業当時、事業者名を長岡岡用自動車として始まった。2003年、現社長・原田拓巳さんの母親が社長となり、5年後に拓巳さんが運転手として入社。2014年、観光推進を提唱した町と足並みを揃え、貸切バス事業を始めるべく拓巳さんが社長に就任した。

昨年11月、病院の移転に伴い、町営バスにまちなか線の運行がスタート。本数も増えて、町内の移動が